

な お み

理念

私たちは、地域に密着した病院として、他の医療機関や関係の方々との密接な連携のもと、安全で心の通った医療・保健・福祉サービスを提供し、患者さんや地域の皆さんから信頼され選ばれる病院を目指します。

安全・信頼・連携・地域密着

「信頼され、選ばれる病院を目指して」

新年度を迎えて

医療法人 正観会 御野場病院
院長 三浦 邦夫

今年の冬は記録的な大雪で除雪や通行に大変な思いをしましたが、春になるとその雪もあつという間に解けて、御野場病院も新しい年度を迎えました。

この春は病院にとって大きな出来事があります。永年病院に貢献された柳生昭元名誉院長先生が退職されたことです。先生は秋田赤十字病院で副院長されておりましたが、武者伝次郎先生の後、平成7年に院長として当院に赴任されました。先生は社会保険の審査員や、東北厚生局の医療指導医として県内の医療の健全化に携わり、また、県医師会の役員として医師会活動にも熱心でした。小林尚壬先生が院長となられてからは、名誉院長として病院の発展に尽くされました。外来は先生を慕って患者さんがあふれていました。柳生先生は今後赤十字の献血のお仕事をされるそうでまた御目にかかれると思います。

ところで、御野場病院の今年度の目標はリハビリテーションの充実です。リハビリ病棟の拡充、訪問リハビリテーションの充実などです。そ



のため新しく理学療法士、作業療法士、言語聴覚士合わせて7名を採用しました。さらに、介護福祉士など他の職種の、新しい職員も増えました。今年は、プロ野球の新人の活躍が目立っています、新人が活躍すると活気が出ます。当院の新入職員の活躍を期待します。

外来メンバーも変わりました、多田副院長、鎌田・金谷両先生が新しく外来に加わっていただきました。これからは、各先生方の専門性も活かせると思います。皆さん安心して受診してください。

インフルエンザの流行があり、病院としては、患者さんが罹らない様に面会の制限をしておりましたが、皆さんのご協力のおかげで院内感染もなく無事、乗り切ることができ制限を解除することが出来ました。有難う御座いました。

3月から秋田新幹線にも新型のE6系“スーパーこまち”が走り始めました、早く乗ってみたいです。



基本方針

私たちは、理念に基づいて、次のような医療・保健・福祉の実践に努めます

- 患者さんとそのご家族の皆さんの立場になって考え、思いやりといたわりの心を持って生命の尊厳をみつめ、心安らぐ温もりのある医療・福祉の提供に努めます。
- 職業人としての誇りを持ち、日々、新たな知識の習得と技術の向上に励み、全職員が協力して、患者さんと地域の皆さんに安全で信頼される医療・保健・福祉の提供に努めます。
- 患者さんとそのご家族の皆さんとの対話をいつも心がけ、患者さんの権利を守りつつ納得していただける医療・福祉の提供に努めます。
- 近隣の医療機関だけでなく、福祉・行政機関とも密接な連携を築き、患者さんと地域の皆さんのニーズに応える医療・保健・福祉の提供に努めます。
- 創意工夫をこらし、よいものは残し、あたらしいものを採り入れ、成長・発展するように努めます。
- 健全な経営と運営に努め、明るく働きがいのある職場環境をつくりまします。

患者さんの権利と責務

私たちは、ここに患者さんの権利と責務を明らかにして、お互いの信頼・協力関係を育み、安全で質の高い医療がなされるように努めていきたいと考えています。

適切な医療を受ける権利

生命の尊厳を尊重し、医療水準に基づいた適切な医療および介護を受けることができます。私たちは法令・ガイドライン・院内規程などを守り、医療および介護を行います。

プライバシーが保障される権利

診療の過程で得られた個人情報は厳守されます。

医療行為を選択し決定する権利

受ける医療内容を知らされた上で、自らの意思で治療方法の選択、あるいは拒否ができます。また、最善と考えられる医療を受けるために、主治医以外の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができます。
※セカンドオピニオンを希望するときは担当医に申し出てください。

平等に医療を受けられる権利

難病や認知障害などいかなる病気や障害があっても、人格が尊重された医療および介護を公平・公正に受けることができます。

医療に関して知る権利

患者さんが受ける医療について納得できるまで、十分な説明と情報と提示が受けられます。

医療への参加と責務

治療・療養の効果をあげるため、療養上の決まりを守り、積極的に医療に参加、協力をします。

診療実績(平成24年度)

内科

Internal medicine

新入院患者数	72
退院患者数	75
在院患者延数	39,852
1日当り在院患者数	109.18
平均在院日数	507.7

リハビリテーション科

Rehabilitation department

新入院患者数	198
退院患者数	195
在院患者延数	14,153
1日当り在院患者数	38.78
平均在院日数	70.6

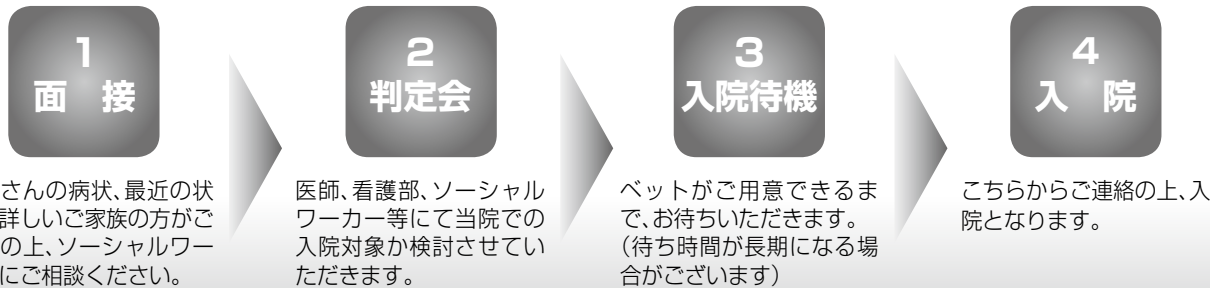
計

total

新入院患者数	270
退院患者数	270
在院患者延数	54,005
1日当り在院患者数	147.96
平均在院日数	193.6
病床利用率(%)	97.3

入院申込み・医療相談

■ **入院申込み**……………入院をご希望される方は、医療相談室までお電話ください。



※他の病院、医院等にてご加療中の場合は、なるべく主治医の診断書または紹介状をご持参ください。

医療相談

療養上の様々な心配事についてソーシャルワーカーがご相談をお受けしております。

■ **例えば**……………

他病院、施設との調整

主治医と連携をとりながら、ご家族の希望に沿うように転院、転所等の調整をします。

退院支援について

介護保険法に基づいてケアマネジャーと連携をとりながら、退院に向けて様々なご相談に応じます。

福祉制度の利用について

身体障害者福祉法、生活保護法等福祉制度全般のご説明。

尚、ご相談については無料・秘密厳守です。
お気軽に右記の時間帯、ご連絡ください。

●入院申込み、医療相談はこちらから…(時間外はご相談に応じます)

医療相談室(担当/高橋) 受付時間/平日 9:00 ~ 15:00

電話/018-829-6141(内線189)



平成25年度 辞令交付式

4月1日(月)に平成25年度辞令交付式が行われました。

昇任人事11名、新採用職員13名の辞令交付となりました。

新採用職員の皆さんには、初めて社会へと羽ばたいた方、また社会経験や他院での経験のある方などそれぞれ立場や思いは異なると思いますが、新たな出発の第一歩として期待や情熱を持って今日の辞令交付式に臨んでいたことでしょう。



新人 職員紹介



理学療法士／大山 裕子

所 属 リハビリテーション科

好きなこと 散歩・スポーツ観戦

自己紹介 慣れないことが多いですが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。



理学療法士／堀井 綺華

所 属 リハビリテーション科

好きな言葉 人は人、自分は自分

自己紹介 今、秋田で働くことができて、とても幸せです。自分なりに精いっぱい頑張るので、よろしくお願いします。



作業療法士／斎藤 佳奈

所 属 リハビリテーション科

好きなこと 体を動かしたり、ドライブをすること。

自己紹介 一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。



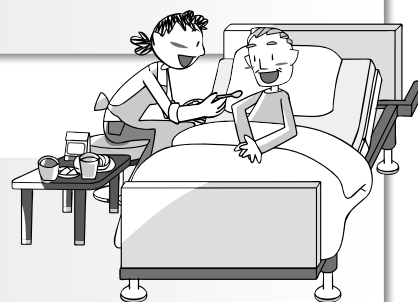
作業療法士／佐々木 晴美

所 属 リハビリテーション科

好きなこと アウトドア

好きな言葉 一期一会

自己紹介 誠心誠意、心を込めて、頑張ります。



作業療法士／若林 加奈

所 属 リハビリテーション科

好きなこと コンサートに行くこと **好きな言葉** 一期一会

自己紹介 念願の作業療法士として御野場病院に就職でき、嬉しく思っています。早く仕事に慣れ、信頼される作業療法士となれるよう頑張りたいです。



言語聴覚士／堀江 美樹

所 属 リハビリテーション科

好きなこと 読書

自己紹介 地元である秋田で働けることをうれしく思っています。
一生懸命頑張りますので、よろしくおねがいします。



介護福祉士／煤賀 志乃

所 属 2 A病棟 **好きな言葉** 明日は明日の風が吹く

自己紹介 2 A病棟に配属になりました「さすが」です。お休みの日は
1才の息子と遊んだりしているとあっという間に一日が終
わってしまいます。今一番欲しいものは睡眠時間です。早く
仕事を覚えられるよう頑張りたいと思います。



介護福祉士／山村 優輔

所 属 3 A病棟

好きなこと お酒を飲むこと

自己紹介 新卒で経験も少ないですが、患者様によりケアを行うよう
努めます。よろしくお願いします。



介護福祉士／渡部 純

所 属 2 B病棟

好きなこと スポーツ（バスケット）・車いじり

自己紹介 新卒で未熟者ですが、利用者のために精一杯頑張ってい
きたいので、よろしくお願いします。



社会福祉士／大坂谷 知成

所 属 相談室

好きなこと 読書・水泳・写真

自己紹介 初めての病院での勤務に戸惑うことも多いですが、学ぶこ
とも多く新鮮な毎日です。よろしくお願いします。

四季雑感

今年も寒い日が続き、春の訪れを告
げる桜の開花も平年より一週間ほど遅
い開花となりました。

皆様お花見はされましたでしょうか？
開花後に雨の日が続いてしまいましたが、
雨に濡れる桜の花もまた、風情があ
ります。

咲いたと思えば足早に散っていく桜
の儚さには、色々と、考えさせられるも
のがあります。

「久方の光のどけき 春の日に
静心なく花の散るらむ」
今年の桜は何を想い、また来年どんな
綺麗な花を咲かせてくれるのでしょうか。

お知らせ

柳生昭先生がご退職されました。

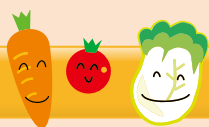
永年当院にご尽力いただきました、柳生昭先生が、この度ご退職されました。柳生先生は、秋田赤十字病院で副院長として勤務された後、平成7年に当院の第3代院長に就任されました。平成13年に院長を退任されてからは、名誉院長として当院の発展を支えていただきました。



柳生先生の外来診療に、たくさんの患者さんがいらしていたことを思い出しますと、先生のお人柄や熱心な診療の様子が目に浮かびます。また、社会保険・国民健康保険診療報酬審査員や、医師会理事・副会長、さまざまな企業の産業医なども務められ、医師として多方面にご活躍されております。今後は秋田県赤十字血液センターで医師としての仕事を続けられるということでした。これからはますますのご活躍をお祈り申し上げます。この場をお借りして、ご報告させていただきました。



栄養科より



今月は、茶話会についてご紹介します。
当院では偶数月の第2木曜日に、季節を感じてもらえるようなおやつをお出ししております。
2月の茶話会では、『手作りクッキー』をお出ししました。当日はバレンタインデー。栄養士から患者さんに愛情たっぷりのプレゼントをすることができました。
患者さんからも「食べるのがもったいない」という嬉しい声が聞かれました。



1つ1つ、形を確認しながら味わって食べている方が多く見られました。

4月の茶話会では、『桜のロールケーキ』をお出ししました。色粉で色づけしたクリームで、お皿に花のデコレーションをしました。感激のあまり、泣き出す患者さんもいました。

当日はあいにくの天気でしたが、患者さんには一足先に、桜の開花を感じてもらえたようでした。